

まほるば



病院の理念

生命と人権を尊重し、良質かつ適切な医療を行います

第77号

2007年11月発行

【コラム】弘前病院は誰のものでしょうか

最近、「会社は誰のものか」ということがマスコミを賑わしました。社長のものであるとか、株主のものであるなどと色々議論がありました。

それでは弘前病院は誰のものでしょうか。その答えは明白です。国立病院機構のものであり、そして私たち職員のものであると同時に地域の皆さんのものです。

地域の皆さんの弘前病院に対する意識が非常に重要です。と言うのは、地域の皆さんが弘前病院は必要ないとなれば、どんなに職員が努力しても弘前病院は消滅します。逆に、地域の皆さんが弘前病院を必要とすれば消滅することはないでしょう。しかし弘前病院が市民にとって必要であるということだけでは当院は存続できません。

弘前病院が存続するためには優秀な職員と医療を施すための十分な設備や器具、それに職員と患者さんとの心の交流が必須です。職員と医療設備などは病院側の努力で対応できますが、患者さんとの信頼関係や交流は、地域の皆さんの理解と協力がなければできません。



しかもこれが一番重要なことです。

これまで弘前病院は地域の皆さんから多くのご支援とご協力を頂きましたが、これからもよろしくお願ひします。

院長 五十嵐 勝朗

※写真は、葛西卓爾様からいただいた菊の鉢植です。

【11月の栄養管理室 “サプライズメニュー” マグロ漬け丼】

今年も残り1ヶ月。皆さんやり残した事はありませんか？早くも厳冬・大雪の気配が感じられる今日このごろです（今冬の降雪量が気になります！）

11月13日は「まぐろづけ丼」を提供させていただきました。

「何で病院は生ものが出ないの？」「お刺身が食べたいわ！」患者さんのご要望が大きかったメニューの1つです。

我が青森県は大間産のマグロが有名ですが、たいへん高価で貴重な食材ですので、私達の口にはなかなか



入りません。そこで今回は、静岡県は焼津漁港のメバチマグロ+生わさび!! 当日まで何回もミーティングを重ねて臨みました。

マグロの選定、身の厚さ、しょう油だれに漬ける時間など、特に衛生面には、一番気を遣いました。皆さん美味しく召し上がって頂けましたでしょうか？

これからも美味しく喜ばれるメニューの提供を、心がけていきたいと思ひます。

任栄養士 野呂 直子

【—「赤ちゃんにやさしい病院」認定記念講演会—】

「赤ちゃんにやさしい病院」認定の記念講演会が、11月10日（土）弘前市総合学習センター多目的ホールで開催されました。



「今、求められる母乳育児とは」をテーマに、九州日赤国際看護大学教授

の吉永宗義先生を講師にお迎えした講演会は、県内外の医療関係者はもとより、一般市民の方にも多数参加いただき、350名収容の会場は、ほぼ満席の状況でした。吉永先生のお話から、改めて母乳育児の重要性を認識させられました。

講演会は盛会のうちに終了となりました。

管理課長 大類 靖

【“わが診療科、ここが自慢”

—皮膚科—

当科は、月曜から金曜まで午前は毎日一般外来を行っています。また、火曜、木曜の午後には、皮膚生検、小手術などを行っています。一般外来では、湿疹、アレルギー性皮膚炎、皮膚掻痒症、丹毒、蜂窩織炎、尋常性疣贅、带状疱疹、尋常性乾癬、老人性皮膚疾患、皮膚潰瘍など皮膚科全般にわたっております。手術、検査の内容は、粉瘤、脂漏性角化症（いわゆる老人性のいぼ）、色素性母斑（いわゆるほくろ）、老人性色素斑（いわゆるしみ）、日光角化症など多く、その他炎症性皮膚疾患での鑑別のための検査、また皮膚悪性腫瘍（基底細胞癌、ボーエン病、有棘細胞癌、悪性黒色腫、皮膚リンパ腫など）の鑑別検査も行っています。また外来には紫外線照射装置があり、掌蹠膿疱症や円形脱毛症、尋常性乾癬、結節性痒疹、またアレルギー性皮膚炎の一部（小児、若年者を除く）の治療に使っています。

なお、あざの蔓状血管腫や単純性血管腫に対してのダイレーザー、太田母斑などに対してのルビー／アレキサンドライトレーザーは当科にはないため当該疾患は、大学病院のレーザー外来など紹介しております。12月、1月と当科の担当医師の変更が続きますが、気を引き締め精進していきたいと思っております。



皮膚科医師 熊野 高行

【職場体験学習 弘前市立第一中学校】

「総合的な学習」の一環としての職場体験学習のため、弘前市立第一中学校生が弘前病院を訪れました。10月19日（金）は2年生7名が、11月5日（月）は1年生5名が緊張した面持ちで職員の説明を受けました。



2年生の7人は病棟に分かれ、洗髪や足浴の見学をしたり病室を訪問し、短時間でしたが患者様とふれあっていただくことができました。

また、1年生5名は、検査室や機能訓練棟で器具、器械を興味深く見たり、使い方を聞いたりし、良い経験になったようです。

生徒からは、「小児科・産婦人科の医師が減少していることが問題となっているが、どう感じているか」などの切実な問題を鋭く突いた質問もあり、将来は産婦人科・小児科の医師や看護師になりたいと言う頼もしい声も聞かれていました。

体験学習を受け入れた私達にとっても、明るい未来が見えたような楽しい一日となりました。

教育担当看護師長 福士 英子

【Shirley Fry 先生 当院を視察】

弘前大学と姉妹校のテネシー大学マーチン校から Shirley Fry 助教授が来弘され、10日間の滞在期間中の一日（10月24日）、当院を視察されました。Fry 先生は看護師の資格をお持ちで、アメリカ空軍看護部隊に17年間勤務された後、10年前から病院や大学で看護教育に携わっておられます。特に周産期医療に関心をお持ちであるとのことで、当院では先生に母子医療センターを見ていただきました。NICU（新生児集中治療室）など当院の誇る施設と野村先生、杉山師長の流暢な英語の説明に、Fry 先生、大層満足された様子でした。

マーチン校の附属病院の産科では年間出産数はおよ

そ200で、おもに順調に経過した妊婦と新生児の周産期ケアを行っているとのことでした。

アメリカ空軍におられたということで、ごつい感じの先生を予想していましたが、Fry 先生はとても明るく優しいお人柄で、息子さんを持つお母さんでもありました。



臨床研究部長 泉井 亮

外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (2007年11月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金
総合診療外来	午前	/	/	大 串 和 久	/	/
内科		人 見 博 康	小 沢 一 浩	人 見 博 康	小 沢 一 浩	小 沢 一 浩
呼吸器科		山 本 勝 丸	中 川 英 之	中 川 英 之	山 本 勝 丸	中 川 英 之
消化器科		佐 藤 年 信 中 畑 元	佐 藤 年 信 中 畑 元	佐 藤 年 信 中 畑 元	中 畑 元 (藤 田 均)	佐 藤 年 信 中 畑 元
小児科		杉 本 和 彦 大 谷 勝 記	野 村 由美子 佐 藤 啓	杉 本 和 彦 大 谷 勝 記	佐 藤 啓 野 村 由美子	野 村 由美子 杉 本 和 彦
外科		田 澤 俊 幸 三 上 勝 也	高 橋 克 郎 三 上 勝 也	横 山 昌 樹 田 澤 俊 幸	横 山 昌 樹 高 橋 克 郎	三 上 勝 也 横 山 昌 樹
整形外科	午前	柿 崎 寛 近 江 洋 嗣 上 里 涼	柿 崎 寛 工 藤 幸 三 又 は 藤 幸 三	柳 澤 道 朗 近 江 洋 嗣	柳 澤 道 朗 又 は 洋 嗣 近 江 幸 三 又 は 整	柿 崎 寛 柳 澤 道 朗
	午後	/	/	/	/	柿 崎 寛
脳神経外科		/	/	木 村 正 英	/	/
皮膚科	午前	熊 野 高 行 小 笠 原 寛	鳴 海 博 美 熊 野 高 行 小 笠 原 寛	鳴 海 博 美 熊 野 高 行 小 笠 原 寛	熊 野 高 行 鳴 海 博 美 小 笠 原 寛	熊 野 高 行 鳴 海 博 美 小 笠 原 寛
	午後	熊 野 高 行	● 手 術	鳴 海 博 美 小 笠 原 寛	● 手 術	小 笠 原 寛
泌尿器科		大 和 隆	大 和 隆	大 和 隆	大 和 隆	大 和 隆
産婦人科		真 鍋 麻 美 工 藤 香 里	佐 藤 春 夫 田 中 加 奈 子	真 鍋 麻 美 工 藤 香 里	● 妊 婦 健 診	佐 藤 春 夫 真 鍋 麻 美
眼科		蒔 苗 順 義	蒔 苗 順 義	蒔 苗 順 義	蒔 苗 順 義	蒔 苗 順 義
耳鼻咽喉科		黒 田 令 子 武 田 育 子	黒 田 令 子 武 田 育 子	● 手 術	黒 田 令 子 武 田 育 子	黒 田 令 子 武 田 育 子
放射線科	診	佐 々 木 幸 雄	佐 々 木 幸 雄	佐 々 木 幸 雄	佐 々 木 幸 雄	佐 々 木 幸 雄
	治療	/	阿 部 由 直 (午後)	/	/	/
麻酔科		● 手 術	● 手 術	● 手 術	工 藤 明	● 手 術
セカンドオピニオン	午前	/	/	/	今 充	/

※学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

【シリーズ】臨床検査のABC⑭ 血液検査室

3回目は、凝固検査についてお話しします。

血管が傷つき出血を起こすと生理的反応としてその部位を血管の中と外にあるいくつかの凝固因子が働いて血栓(止血栓)を作り出血を止めます。また、傷ついた血管が元と同様に修復され治ると、今度は血栓を溶かすようにいくつかの凝固因子が働きます。

凝固機能を調べるために以下の検査項目があります。

出血時間 基準値 1~3分 耳朵を穿刺し、出血が自然に止まるまでの時間を測ります。

プロトロンビン時間 (PT) 基準値 10~12秒

外因系の凝固活性を総合的に判定するスクリーニング検査です。

活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT)

基準値 45秒以下 内因系凝固活性の指標として、PTとともに出血性素因のスクリーニング検査です。

フィブリノーゲン 基準値 200~400mg/dl

血栓を形成するフィブリンの前駆体です。炎症で増加し、高度な肝機能障害等で減少します。

トロンボテスト 基準値 70~130% 経口抗凝固薬療法を行う場合、ワーファリン投与のモニターに用いられます。



ヘパラスチンテスト 基準値 70~130%

PTとともに肝疾患の重症度ないし予後判定に利用されます。

FDP 基準値 5μg/ml以下 凝固亢進状態の把握に用いられる検査です。(血栓を溶かす働きをします)

Dダイマー 基準値 1μg/ml以下 凝固亢進状態の把握に用いられる検査です

ATIII 基準値 80~130% 凝固亢進状態では血栓がたくさん作られます。これを抑えるために働く凝固因子の検査です。

生理学主任 外崎 和代 臨床検査技師 橋 輝彦

※次回からは、生化学検査(肝機能・血糖・腎機能・脾機能など)についてお話しします。

【ふるさと紹介】◇北海道札幌市◇

今年4月、国立病院機構札幌南病院より赴任してきました。生まれも育ちも北海道です。札幌は現在人口189万人で、中心街は高層の建物も多く、JR札幌駅周辺の高層マンションからは石狩の海まで見えるそうです。しかし郊外には緑が多く、私が勤めていた札幌南病院の周辺は自然環境がとても豊かな場所で、果樹園が多く、車で20分位行くと定山溪温泉があります。

環境が良すぎて、院内ではカメムシやヘビに悩まされました。山の奥のほうでは「ヒグマ」もいます。



夏は、よさこいソーラン祭りや大通公園でのビアガーデンでにぎわい、冬は雪祭りが有名です。これからは雪の季節となり、ホワイトイルミネーションが大通公園を中心に彩られます。札幌市はドイツのミュンヘン市と姉妹都市を提携しており、今年も11月22日～12月16日までミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo が大通公園で開催されます。ドイツのクリスマスの雰囲気を楽しむことができます。

ホットワインを飲みながら、札幌観光はいかがでしょう？
看護学校教員 桐生 晶子

【今月の川柳】

★【川柳募集】 あなたの川柳をお待ちしています。

「風の子」の作品楽しみ外来日 (カマダ)

※ 外来処置室前に、院内園児「風の子保育園」の作品を掲示しています



※ 掲載した川柳は、広報誌編集委員会を選出したものです。

お知らせ

◆ 苦情相談窓口

患者様やお見舞いの方などからの苦情や相談は、『患者相談室』のMSW（メディカルソーシャルワーカー）や、院内6か所に設置している『ご意見箱』で対応しています。

なお、皆様にお知らせした方が良い内容については、外来掲示板に掲示しています。

発行元 **独立行政法人国立病院機構弘前病院**
Hirosaki National Hospital
責任者 副院長 佐藤 年信

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地
TEL0172-32-4311 FAX0172-33-8614
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/hirosaki/>